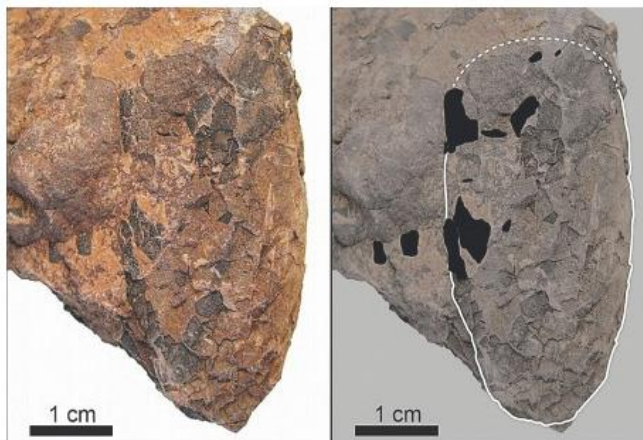


# 丹波に世界最小恐竜卵化石

兵庫県立人と自然の博物館（三田市）と筑波大学は23日、丹波地域に分布する篠山層群で発掘した約1300点の卵・卵殻化石のうち、4種類をティラノサウルスなどと同じ獣脚類恐竜の卵殻と確認し、うち1種類を「新卵属・新卵種」の恐竜卵化石と結論づけたと発表した。約1億1千万年前（白亜紀前期）の地層から見つかり、世界最小となる恐竜の卵の化石という。

（真鍋 愛）

## 1億1000万年前地層で発見



発見された世界最小の恐竜卵「ヒメウーリス・ムラカミイ」の化石（左）。右は、白線が卵の輪郭、黒く塗られた部分が卵殻を示している＝筑波大学、兵庫県立人と自然の博物館提供



卵を産む小型恐竜の復元画（長手彩夏さん提供）

## 人と自然の博物館など 推定10グラム、新種と判定

篠山層群は、丹波篠山市と丹波市にまたがる地層。2006年には、大型恐竜「丹波竜（タンパティタニス・アミキティアエ）」の化石が見つかるなど、国内有数の恐竜化石産地として知られる。今回は19年1〜3月、白亜紀前期の同層群大山下層（丹波市山南町上滝）で発掘調査が行われた。最小の卵化石は、長さ4・5センチ、幅2センチ、重さは推定約10グラム。丹波竜第1発見者の一人で、今回の化石群の発見に貢献した村上茂さん（75）＝丹波市山南町下滝＝にちなみ「ヒメウーリス（かわいい卵の化石）・ムラカミイ」と命名された。ウズラの卵ほどという非常に小型で細長い形状と、卵殻構造の特徴から新種と判定された。

また、新卵種の化石も見つかり「サブティオリオリス・ヒョウゴエンシス」と命名された。篠山層群からは計6種類の恐竜卵殻化石が確認されたことになり、

篠山層群は、丹波篠山市と丹波市にまたがる地層。2006年には、大型恐竜「丹波竜（タンパティタニス・アミキティアエ）」の化石が見つかるなど、国内有数の恐竜化石産地として知られる。今回は19年1〜3月、白亜紀前期の同層群大山下層（丹波市山南町上滝）で発掘調査が行われた。最小の卵化石は、長さ4・5センチ、幅2センチ、重さは推定約10グラム。丹波竜第1発見者の一人で、今回の化石群の発見に貢献した村上茂さん（75）＝丹波市山南町下滝＝にちなみ「ヒメウーリス（かわいい卵の化石）・ムラカミイ」と命名された。ウズラの卵ほどという非常に小型で細長い形状と、卵殻構造の特徴から新種と判定された。

篠山層群は、丹波篠山市と丹波市にまたがる地層。



また、新卵種の化石も見つかり「サブティオリオリス・ヒョウゴエンシス」と命名された。篠山層群からは計6種類の恐竜卵殻化石が確認されたことになり、

篠山層群は、丹波篠山市と丹波市にまたがる地層。2006年には、大型恐竜「丹波竜（タンパティタニス・アミキティアエ）」の化石が見つかるなど、国内有数の恐竜化石産地として知られる。今回は19年1〜3月、白亜紀前期の同層群大山下層（丹波市山南町上滝）で発掘調査が行われた。最小の卵化石は、長さ4・5センチ、幅2センチ、重さは推定約10グラム。丹波竜第1発見者の一人で、今回の化石群の発見に貢献した村上茂さん（75）＝丹波市山南町下滝＝にちなみ「ヒメウーリス（かわいい卵の化石）・ムラカミイ」と命名された。ウズラの卵ほどという非常に小型で細長い形状と、卵殻構造の特徴から新種と判定された。

白亜紀前期の地層では、世界で最も卵殻化石の種類が豊富な地域となった。発見は論文にまとめられ、国際学術雑誌に投稿された。同館主任研究員で、兵庫県立大学の池田忠広准教授（41）＝古爬虫岡樓類学＝は「約1300点の化石を細かく調べると、多様な生物が生きていたことが分かった。大変喜ばしい」と話す。村上さんは「丹波竜のお友達を探そうと思つて、発掘を呼び掛けた。丹波竜は国内最大級、卵は世界最小。私の名が学名の一部になったことも、大変誇らしい」と舌を弾ませた。

（C）神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

### なまえ【 】

①このニュースを発表した博物館の名前は？

ひょうごけんりつ 兵庫県立 

--	--	--	--	--

 はくぶつかん 博物館

③いつごろの地層から見つかりましたか。

--	--	--	--	--

 ちそうの地層

②世界最小の恐竜卵化石は何と命名されましたか。


④感想を書きましょう。